

1) 絵図を読み、キヤラクターを数えて、「?」にどの数字を貼りたいか(個体の数)を考えさせる。
2) 開いた円(個体の数)が、集合の範囲を示しているという問題形式の約束事に慣れさせること。
3) 数字の切り貼りなぞり書き。

a) 2つの集合と、それらを含む集合の数を階層的に捉えることは、足し算と引き算の先行体験として意味を持つ。
b) 全て5+1=6, 5+2=7, 5+3=8の五二進構造。

特定用具: 不要

6

5 ?

?は いくつかな。

? ?

?

? ?

?

? ?

9
8
7
5
5
5
5
4
3
2
1